

函南ブランド誕生に向けて  
函南ブランド認定審査委員会



▲小柳津周さん（写真左）に委嘱状が手渡されました

7月1日、函南町役場で函南ブランド認定に向け第1回認定審査委員会が行われました。

「函南ブランド」は、函南の優れた地域資源をブランドとして認定し、全国に向けて広くPRすることで、地域経済の活性化や観光振興に結び付け、まちの魅力を向上することが目的です。

第1回認定審査委員会では、委員会の設置要綱や認定基準などを協議し、ブランド候補の募集を開始し、秋には第1号が誕生します。

認定審査委員会のメンバーは函南町出身の小柳津周さん（日本大学短期大学部食物栄養学科教授）ら6人です。

全国大会での飛躍を誓う  
四反田翔汰さん県で優勝

このほど、静岡市で開催された第32回全国小学生静岡陸上競技大会県選考会男子6年生100m走でST函南所属の四反田翔汰さん（間宮）が12秒55の記録で優勝し、全国大会出場を決めたことを森町長に報告しました。

ST函南からの全国大会出場は創部以来初めてで、監督らは「素直で練習熱心が好タイムにつながっている。メンタルが強い」と四反田さんの印象を話してくれました。四反田さんは「全国大会では11秒台を出して優勝したい」と抱負を話してくれました。

全国大会は8月下旬に横浜市で開催されます。



▲優勝したことを報告する四反田さん

7月11日～7月20日  
夏の交通安全県民運動



▲のぼり旗を手にし、交通安全を呼びかけました

7月11日～7月20日は夏の交通安全県民運動期間です。

7月11日、函南町役場前交差点で、夏の交通安全県民運動街頭広報が行われました。

街頭広報には、三島警察署員、交通安全指導員、交通指導員、交通安全母の会役員、各地区役員など約190人が参加し、特に交通量の多い熱函道路の交差点を重点的に行いました。

「運転中の携帯電話は禁止」「後部座席もシートベルトを着用」などと書かれたのぼり旗を手にし、信号待ちのドライバーへ啓発チラシとグッズを配布し、交通安全を促しました。

水害に備え、学ぶ  
函南町水防訓練



▲全員で協力して改良積み土のう工法を実施しました

6月26日、肥田簡易グラウンドで水防訓練が行われました。

水防訓練には、消防団員、各地区の役員、消防団サポート隊員、田方北消防署員、町議会議員、町建設事業防災協力会員、町職員など約300人が参加し、土のうの作り方や救命救急講習、水難救出講習、模擬火災中継訓練、排水ポンプパッケージなどの災害対策車両の展示を行いました。

これからの出水期に備えて河川が氾濫する可能性を想定し、改良積み土のう工法を全員で実施し、有事の際の連携体制を確認しました。



通学路を花でいっぱい  
「柏谷フラワー通り」で植栽

6月28日、町道の「柏谷フラワー通り」でマリーゴールドとポチュラカの植栽が行われました。

植栽には、東中学校の生徒有志120人、地域包括支援センターのボランティア、地域住民、町職員が参加しました。

生徒は、町職員らから指導を受け、黄色やオレンジ色、白色、ピンク色の花苗を約50cm間隔で3列に花が美しく映えるように植えました。

柏谷フラワー通りは、同校近くの町道沿いの両脇約400mで、生徒たちの通学路になっています。（秋には別の花に植え替える予定）



▲マリーゴールドとポチュラカの植栽を行いました

動物の命の大切さを学ぶ  
東小で動物愛護教室



▲飼い主に許可をとって、犬と触れあう児童

6月30日、東小学校の体育館で動物愛護教室（県動物愛護協会主催）が行われ、「犬の習性、接し方を学び、犬による危害発生を防止すること、動物の命を大切にすることを学ぶこと」を目的に東小学校の3年生124人が参加しました。

児童らは犬に触れあう前に、獣医師の先生から犬の体の説明や犬の心臓の音を聞き、その後、動物ボランティアの皆さんが飼っている犬に触れ、犬との安全な接し方を学びました。

参加した児童は「フワフワして気持ち良かった。犬や動物を大切にしていきたい」と感想を話してくれました。